

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件抗告申立の適否について判断するに、本件弁論の併合請求却下決定のように、訴訟手続に関し判決前にした決定は、刑訴法四三三条一項にいう「この法律により不服を申し立てることができない決定」に当たらないから、本件抗告の申立は不適法である。

よつて、同法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和六二年二月九日

最高裁判所第二小法廷

|        |   |   |   |     |
|--------|---|---|---|-----|
| 裁判長裁判官 | 香 | 川 | 保 | 一   |
| 裁判官    | 牧 |   | 圭 | 次   |
| 裁判官    | 島 | 谷 | 六 | 郎   |
| 裁判官    | 藤 | 島 |   | 昭   |
| 裁判官    | 林 |   | 藤 | 之 輔 |